

2014年8月19日
リコーリース株式会社

J-クレジット制度に基づくCO₂排出削減プロジェクトの登録について ～有限会社ホワイト急便横須賀 都市ガスボイラー更新によるCO₂排出削減～

リコーリース株式会社（代表取締役社長執行役員：松石 秀隆、以下「当社」）は、有限会社ホワイト急便横須賀（代表取締役：松井 公一）と排出権取引を含むCO₂排出削減プロジェクトを行うことについて、8月4日、J-クレジット制度認証委員会でJ-クレジット保有者としてプロジェクトの登録を承認されました。本プロジェクトは、当社が取り組んだJ-クレジット制度（新制度）に基づく初事例となります。

当社は、有限会社ホワイト急便横須賀の排出削減事業から創出される排出権（J-クレジット）を購入し、自社の事業活動におけるCO₂排出量を相殺します。

当社は、これまでも旧クレジット制度を利用して自社のCO₂排出量の一部をお客様と共に取得して国へ償還し、相殺を行ってまいりました。今後もお客様やサプライヤーと連携し、当制度への取り組みを拡充して参ります。また、サプライチェーンマネジメントの一環としてスコープ3の開示に取り組むと共に、J-クレジット制度とグリーン投資減税などを組み合わせた包括的なご提案で、お取引先のCO₂排出量削減や、環境配慮型の商品・サービス導入を推し進めて参ります。

【プロジェクト概要】

1. プロジェクト概要
工場におけるボイラーの更新(重油→都市ガス)
2. プロジェクト実施者・実施場所
有限会社ホワイト急便横須賀 金沢文庫工場
神奈川県横浜市金沢区
3. J-クレジット保有者
リコーリース株式会社
4. 認証予定期間
2014年7月14日～2021年3月31日
5. 適用方法論
EN-S-001 Ver. 1.0 ボイラーの導入
6. 想定排出削減量
202 t-CO₂

<参考>J-クレジット制度

省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。2013年に国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VÉR）制度が発展的に統合した制度。

スコープ3

国際的なガイドライン GHG プロトコル・イニシアチブが定めた排出量算定基準。2013年に当社は非製造業で初めて「スコープ3」の開示をスタートしました。自社の事業活動だけでなく、お客様先でのリース機器使用や従業員の通勤や出張移動に排出されるCO2を算出し、環境経営を推進します。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

リコーリース株式会社 経営企画室 渥美

Tel: 03-6204-0608 / Fax: 03-6204-0522

Email: ir@rle.ricoh.co.jp

URL: <http://www.r-lease.co.jp/>

| リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器、プロダクションプリントソリューションズ、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です（2014年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,369億円）。

人と情報のかかわりの中で新しい価値を生む製品、ソリューション、サービスを中心に、デジタルカメラや産業用の製品など、幅広い分野で事業を展開しています。高い技術力に加え、際立った顧客サービスや持続可能社会の実現への積極的な取り組みが、お客様から高い評価をいただいています。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「*imagine. change.*」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、下記をご覧ください。

www.ricoh.com/ja/